

令和 3年度 (2年度決算分) 高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	消防局
	政策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成		課(室)名	消防局予防課
	施策	防災・減災対策の充実		電話番号	087-861-1504
	基本事業	市民及び地域の防災意識と防災力の向上		事業実施主体	市
	事務事業	自主防災組織等育成事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	大規模災害時等の被害を少しでも防ぐために「自分たちの地域は、自分たちで守る。」という自助・共助の意識の醸成と高揚を図るとともに、結成された自主防災組織の活動を推進するための防災訓練を支援する等の育成指導を行い、地域防災力の向上を図る。				
3年度概要	防災訓練に係る非常食品の助成事業 自主防災組織連絡協議会補助金 消防支援隊・消防協力隊ボランティア保険 コミュニティ助成事業				
重点取組事業	市長マニフェスト	2-	事務事業の類型	ソフト事業(法律による実施義務有)	

【事業の目的】

対象(何を)	地域コミュニティ、自主防災組織
意図(どのような状態にしたいか)	防災訓練等の実施を呼びかけ支援することにより、自主防災組織の活動を強化して、地域防災力の向上を図る。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
非常食品助成率	%	89	100	11.4	20	30

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
	避難所運営訓練又は安否確認訓練実施率	%	目標値	80	85	90	60	65
			実績値	82	73	52.9		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 新型コロナウイルス感染症の影響により、各地区が訓練の開催中止や従来の訓練に代わる取組みを選択したため、前年に比して大幅に低下したもの。 (目標達成度)							(達成度) 58.8%
								20点
	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成 30年度(決算)	平成 31年度(決算)	令和 2年度(決算)	令和 3年度(予算)
トータルコスト	[円]	31,156	31,093	26,318	25,535
(事業費)	[円]	9,075	8,329	3,872	3,089
(職員人件費)	[円]	22,081	22,764	22,446	22,446

【評価】

評価ランク (A~D)	C	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

新型コロナウイルス感染症の影響により、各地区が訓練の開催中止や従来の訓練に代わる取組みを選択したため、活動指標、成果指標ともに前年に比して大幅に低下した。
感染症が収束するまでの間は同様の状況が見込まれるが、防災力の向上のためにも事業は継続する必要があるため、「新しい生活様式」に対応したような訓練手法等を各地域が選択できるよう、必要な側面支援を行っていく。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

自主防災組織の取り組み事例の紹介や講演会を実施するなどし、自主防災組織の活動の温度差を解消、組織のレベルアップを図る。また、小学校と連携し避難所運営訓練の実施や新たな訓練企画を提案して、より実効性のある訓練の実施を推進する。

令和 3年度 (2年度決算分) 高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	総務局
	政策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成		課(室)名	危機管理課
	施策	防災・減災対策の充実		電話番号	087-839-2184
	基本事業	市民及び地域の防災意識と防災力の向上		事業実施主体	市
	事務事業	地域防災対策事業		事業期間	平成 20年度 ~ 令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	高松市地域防災計画に基づき、防災活動の習熟及び防災関係機関との連携強化、市民の防災意識の高揚等を図るため、総合防災訓練を実施する。				
3年度概要	市民防災講演会講師謝金 総合防災訓練 防災士ネットワーク会員研修会講師謝金 防災士資格取得助成制度 家具類転倒防止対策事業補助				
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業 (法律による実施義務無)		

【事業の目的】

対象 (何を)	高松市民
意図 (どのような状態にしたいか)	本市地域防災計画に基づき、総合防災訓練を実施し、災害対策活動の習熟及び防災関係機関との連携強化、市民の防災意識の高揚等を図る。地域防災力の向上を図るため、防災士の資格取得助成や研修会等を実施し、各地域において防災リーダーを養成する。

【事業の活動】

活動指標名 (具体的にどのような活動をしたか)	単位	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
総合防災訓練実施回数	回			0	1	1
高松市民防災講演会開催回数	回	1		1		1

【事業の成果】

成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
高松市民防災講演会参加人数	人	目標値	86	100	100	100	100
		実績値	102	76	68		
成果指標の達成度 (目標に対してどれだけ達成できたか)	<p>(達成度) 68.0%</p> <p>23点</p>						
高松市民防災講演会は各地域コミュニティ協議会からの代表者と一般市民に対して行いW E B会議システムも併用したが、新型コロナウイルス感染症の影響で参加人数は目標値に達しなかった。	<p>(目標達成度)</p>						
成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	H30	H31	R 2	R 3	中期目標 R 4
		目標値					
		実績値					
成果指標の達成度 (目標に対してどれだけ達成できたか)	<p>(達成度)</p>						
	<p>(目標達成度)</p>						

【コストの推移】

指標名	単位	平成 30年度 (決算)	平成 31年度 (決算)	令和 2年度 (決算)	令和 3年度 (予算)
トータルコスト	[円]	9,658	10,889	28,477	18,582
(事業費)	[円]	584	1,783	17,254	9,604
(職員人件費)	[円]	9,074	9,106	11,223	8,978

【評価】

評価ランク (A ~ D)	B	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
---------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】 (評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

市民防災講演会については、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、W E B開催との併用開催であったものの参加者が減少した。市民の防災意識の向上につながるため、より大勢の参加が見込まれる開催内容を検討していく。

【今後の事業方針】 (評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

訓練内容について、定例的なものではなく、よりリアリティのある訓練となるよう防災力向上に努める。また、防災士のスキルアップを図ることで、地域の防災リーダーを養成していく。

令和 3年度 (2年度決算分) 高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	総務局
	政策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成		課(室)名	危機管理課
	施策	防災・減災対策の充実		電話番号	087-839-2184
	基本事業	市民及び地域の防災意識と防災力の向上		事業実施主体	市
	事務事業	市民防災力向上推進事業		事業期間	平成30年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	高松防災合同庁舎(危機管理)センター1階たかまつ防災プラザ等を拠点に、防災の情報を効果的に発信し、市民の防災意識の向上を図る。				
	3年度概要	定期的な「ぼうさいまちカフェ」の開催やパネル展示など、防災情報の発信 講師謝金 防災プラザ等消耗品			
重点取組事業		市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業(法律による実施義務無)	

【事業の目的】

対象(何を)	高松市民
意図(どのような状態にしたいか)	高松市防災合同庁舎(危機管理センター)1階「たかまつ防災プラザ」等を拠点に、香川大学の協力のもと「ぼうさいまちカフェ」の定期的な開催、パネル展示や大型モニターによる動画放送により防災の情報を効果的に発信し市民の防災力の向上を図る。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H30	H31	R2	R3	中期目標 R4
ぼうさいまちカフェ年間実施回数	回	9	11	9	12	12

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H30	H31	R2	R3	中期目標 R4
	ぼうさいまちカフェ年間参加人数	人	目標値	200	280	250	200	290
			実績値	222	186	121		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							(達成度) 48.4%
								16点
	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H30	H31	R2	R3	中期目標 R4
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)		目標値					
			実績値					
								(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成30年度(決算)	平成31年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)
トータルコスト	[円]	1,265	314	1,025	343
(事業費)	[円]	1,114	86	801	119
(職員人件費)	[円]	151	228	224	224

【評価】

評価ランク (A~D)	D	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	改善継続
【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)			
新型コロナウイルス感染症の影響で実施回数及び参加人数が少なかった。開催中に気軽に立ち寄れるところが魅力であるため、WEB開催を併用しながら、参加者増を図りたい。			
【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)			
ぼうさいまちカフェは、南海トラフ地震などの大規模災害に対する備えや、水害時の避難の在り方など、市民の防災力を向上させるための情報発信ツールであり、今後も毎月開催する必要がある。			